

授業科目	成人看護方法 4	3 学年・前期・2 単位 (60 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	城丸瑞恵 (保健医療学部研究棟 E209 号) e-mail : shiro. m@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	澄川真珠子、田口裕紀子、小木曾寛樹、(光島綾子)、(後藤幸恵)、(鳥塚あゆみ)、(竹内美雪)、(和泉優子)、(小林千秋)、(長谷川理恵)		
概要	成人看護方法 4 は、健康障害により医療を必要とする成人とその家族に対し必要な看護実践を行うために、これまでに学習してきた内容を統合し応用しながら、成人看護領域における具体的な援助方法を学習する科目であり、成人看護過程と成人看護技術からなる。健康障害の経過の特殊性を理解し、個別性に合わせた看護を系統的に思考し実践を創造していくための基礎的能力を身につけることをねらいとしている。本科目は成人看護方法 2 及び 3 と連動させながら進め、慢性的に「病い」と向かい合って症状をコントロールしながら生活する成人とその家族、および健康障害の急性期にあり生体機能の管理を強く必要とする成人とその家族に対する看護の技法を学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性病とともに生活する成人の模擬事例を通して、看護の情報を意識化し、理論の適用を試みながら慢性的経過や社会性からのアセスメントを学習する。 2. 健康障害の急性期にある成人の模擬事例について、侵襲に対する生体反応に注目した援助について考察し、アセスメントから実施・評価までの看護過程を紙上展開できる。 3. 立案した看護計画と関連させて患者の臨床状況に必要な看護技術の基礎を実施できる。 4. 成人看護状況で必要な臨床性の高い看護技術を安全・安楽・効果を考慮して実施できる。 		
関連科目	疾病治療論、人間発達学、栄養生化学、成人看護学概論、成人看護方法 1、成人看護方法 2、成人看護方法 3、成人看護実習 1、成人看護実習 2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考 成人看護技術演習学習状況の内容：事前学習課題実施状況、事後レポート・テスト、討論参加状況
	成人看護過程レポート	75%	
	成人看護技術演習学習状況	25%	
教科書	①M. ゴードン(江川隆子監訳) [最新版] 「ゴードン博士の看護診断アセスメント」 照林社		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> ①T. ヘザー・ハードマン, 上鶴重美 原著編集 [最新版] 「NANDA-I 看護診断 定義と分類」 医学書院 ②井上智子, 稲瀬直彦 [最新版] 「緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図」 医学書院 ③野崎真奈美, 林直子他 [最新版] 「看護学テキスト Nice 成人看護学 成人看護技術」 南江堂 		
履修上の留意点	<p>本科目はディスカッションやロールプレイ、それまでの幾度かの演習と関連させた体験型学習で成り立っているため、欠席した場合、その単元の補習は困難である。また、本科目は後期の成人看護実習 1・2 に直結するため、理解・活用できるようにしておく必要がある。これらのことを踏まえ、学生は主体性を持って授業に臨むことが期待される。</p> <p>なお、2 種類の看護過程演習、症状アセスメント演習、および成人看護技術演習の各単元についての時間割の詳細は、授業の時に説明するので日時に注意すること。</p> <p>レポートの提出期限は厳守のこと。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	科目ガイダンス 慢性看護過程①アセスメントの視点	事前：ゴードンのアセスメントパターンについて復習 事後：事例理解の確認	講義・演習	城丸・澄川・小木曾・(光島)・(後藤)・(鳥塚)・(竹内)・(和泉)・(長谷川)

2	慢性看護過程②事例の病態・事例について課題別グループ学習	事前：病態・検査・治療について学習 事後：課題別グループ学習まとめ	〃	〃
3	慢性看護過程③「生活史」の視点を含めた事例理解、「対象者の基礎情報」、「フェイスシート」の記載	事前：左記の記載 事後：左記の追加・修正	〃	〃
4	慢性看護過程④アセスメント「健康知覚・健康管理パターン」、理論、概念の活用について検討	事前：「健康知覚・健康管理パターン」記載 事後：上記修正	〃	〃
5	慢性看護過程⑤「模擬患者へのインタビュー」	事前：情報収集内容をまとめる 事後：インタビューで得た情報をアセスメントに追加	〃	〃
6	慢性看護過程⑥アセスメント「栄養・代謝パターン」	事前：「栄養・代謝パターン」記載 事後：上記修正	〃	〃
7	慢性看護過程⑦アセスメント「活動・運動パターン」、呼吸筋ストレッチ演習など	事前：「活動・運動パターン」記載 事後：上記修正	〃	〃
8	慢性看護過程⑧アセスメント「自己知覚・自己概念パターン」「価値・信念パターン」	事前：「自己知覚・自己概念パターン」「価値・信念パターン」記載 事後：上記修正	〃	〃
9	慢性看護過程⑨統合(看護関連図、健康課題明確化、優先順位検討、全体目標)	事前：左記記載 事後：上記修正	〃	〃
10	慢性看護過程⑩発表・講評準備	事前：発表・講評資料グループ資料準備 事後：発表・講評資料グループ提出	〃	〃
11	慢性看護過程⑪発表・講評	事前：発表・講評資料グループ提出 事後：個人記録修正	〃	〃
12	慢性看護過程⑫発表・講評・まとめ	事前：発表・講評資料グループ提出 事後：個人記録提出	〃	〃
13	慢性看護過程⑬血糖自己測定演習・事例場面に基づいたロールプレイ	事前：ナースングスキルによる自己学習 事後：レポート	演習	〃
14	慢性看護過程⑭フットケア演習・事例場面に基づいたロールプレイ	事前：ナースングスキルによる自己学習 事後：レポート	〃	〃
15	急性期看護過程オリエンテーション、アセスメントの視点、記録用紙について 急性期看護過程：事例紹介、病態・術式の理解	事後：病態・術式の復習	講義・演習	城丸・田口・小木曾・(光島)・(後藤)・(鳥塚)・(長谷川)・(小林)・(光島)
16	急性期看護過程：フェイスシート・対象者の基礎情報の記載「健康知覚-健康管理パターン」のアセスメント ラウンド-ロビンによる対象理解	事前：事例理解の確認 事後：左記の記載追加・修正	〃	〃
17	急性期看護過程：「運動-活動パターン」のアセスメント 課題別グループワーク	事前：個人による課題学習 事後：課題別グループ学習のまとめ	〃	〃

18	急性期看護過程：「運動-活動パターン」のアセスメント 本グループによるアセスメント学習	事前：課題別グループ学習内容の確認 事後：活動-運動パターンの記載修正	〃	〃
19	急性期看護過程：「栄養-代謝パターン」のアセスメント 課題別グループワーク	事前：個人による課題学習 事後：各課題別グループ学習のまとめ	〃	〃
20	急性期看護過程：「栄養-代謝パターン」のアセスメント 本グループによるアセスメント学習	事前：課題別グループ学習内容の確認 事後：栄養代謝パターンの記載修正	〃	〃
21	急性期看護過程：「排泄パターン」のアセスメント	事前：排泄パターンの記載 事後：上記の記載修正	〃	〃
22	急性期看護過程：統合 周術期術前看護支援に関するデモンストレーション	事前：関連図、健康課題、目標の記載 事後：上記の修正、術前看護支援技術の復習	演習	〃
23	急性期看護過程：看護計画 看護計画、術後観察用紙の記載について	事前：看護計画記載 事後：上記の記載修正、術後観察用紙の記載	講義・演習	〃
24	急性期看護過程：周術期看護技術演習(術後1日目)	事前：術後観察用紙の記載確認 事後：演習で修正う・確認した内容のまとめ	〃	〃
25	急性期看護過程：行動計画表と SOAP 記録	事前：記録用紙の確認 事後：記載した行動計画表と SOAP 記録の確認・修正	〃	〃
26	急性期看護過程：看護計画の評価・修正	事前：看護計画記載の確認 事後：記載した評価・修正の確認	〃	〃
27	急性期看護過程：発表準備	事前：発表に向けて記録物をまとめる	演習	〃
28	急性期看護過程：発表	事後：レポート	〃	〃
29	気管吸引演習・事例場面に基づいたロールプレイ	事前：ナーシングスキルによる自己学習 事後：レポート	〃	澄川・田口・小木曾他
30	エンゼルケア演習・事例場面に基づいたロールプレイ	事前：ナーシングスキルによる自己学習 事後：レポート	〃	〃